

第142回 統計委員会 議事録

1 日 時 令和元年10月18日（金）11:30～11:50

2 場 所 総務省第二庁舎 7階 大会議室

3 出席者

【委員】

北村 行伸（委員長）、椿 広計（委員長代理）、岩下 真理、川崎 茂、神田 玲子、
清原 慶子、佐藤 香、嶋崎 尚子、白塚 重典、中村 洋一、野呂 順一、宮川 努

【幹事等】

内閣府大臣官房政策立案総括審議官、総務省統計局長、総務省政策統括官（統計基準担当）、財務省財務総合政策研究所資料情報部主任調査官、文部科学省総合教育政策局調査企画課課長補佐、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計グループ長、国土交通省大臣官房政策立案総括審議官

【審議協力者】

内閣府経済社会総合研究所所長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局統計調査部長、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

【事務局（総務省）】

長屋総務審議官、岩佐大臣官房審議官、小森大臣官房審議官

統計委員会担当室：櫻川室長、栗原次長、鈴木次長、柴沼次長

政策統括官（統計基準担当）：横田政策統括官、山田統計企画管理官

4 議 事

- ・ 統計委員会委員の発令、委員長の互選、委員長代理及び部会長の指名等について

5 議事録

○櫻川総務省統計委員会担当室長 それでは、定刻となりましたので、ただ今から第142回統計委員会を開催させていただきます。

私は、本委員会の事務局を務めます統計委員会担当室長の櫻川と申します。委員長を選任いただくまでの間、議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

新メンバーによる初回の委員会ですので、委員会の開催に当たりまして、長屋総務審議官から御挨拶いただきます。よろしくお願いたします。

○長屋総務省総務審議官 総務審議官の長屋でございます。よろしくお願いたします。本日は、高市大臣が国会の関係で急遽出席ができないことになりまして、私の方から第7

期統計委員会がスタートするに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

皆様には大変御多忙の中、この度、委員に御就任いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

公的統計の改革は、近年政府の重要課題の一つとなりまして、公的統計の基本計画を前倒しで改定する、それから統計法をまた一部改正するなどしまして、統計委員会の機能強化を図り、公的統計の改善や精度の向上に向けて、取り組んでいるところです。

加えまして、現在は毎月勤労統計調査の不適切事案に端を發しまして、統計の信頼回復が強く求められているという状況にもございます。引き続き、GDP統計の精度向上に向けた取組などの統計改革を推進するとともに、統計の品質向上と信頼回復に向けた取組を進める必要がございます。

本日、ちょうど10月18日というのは、統計の日に当たるわけですがけれども、令和の時代にふさわしい公的統計の整備に向けて、委員の皆様には率直な御意見をいただき、御尽力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 ありがとうございます。

次に、資料1のとおり、統計委員会委員、臨時委員及び専門委員が、10月14日付で任命されております。

また、参考1及び資料2を御覧ください。統計委員会令第1条第3項の規定により、「分科会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員は、内閣総理大臣が指名する」とされております。10月14日付で評価分科会に所属する委員、臨時委員及び専門委員について、資料2のとおり、内閣総理大臣の指名を受けておりますので、御報告させていただきます。

なお、本日は、津谷委員が御欠席です。

続きまして、本委員会の委員長を選任いただきたいと存じます。これについては、参考2を御覧ください。統計法の第49条第1項の規定により、委員の互選によることとされております。どなたか御推薦などはございますか。

清原委員、お願いいたします。

○清原委員 失礼いたします。清原でございます。私は今期の統計委員会の委員長に、是非、北村行伸委員に就任していただきたいと推薦をさせていただきます。

北村委員におかれましては、前期は委員長代理をお務めでもございましたし、統計制度部会の部会長を務められるなど、長年にわたり統計委員会の運営にも精通されていらっしゃいます。

長屋総務審議官がおっしゃいましたように、統計委員会の役割はますます期待され、特に公的統計の改革と信頼回復が喫緊の課題です。

是非、北村委員にお引き受けいただきまして、皆様の御賛同をいただければと推薦申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 ほかに御意見はございますか。

宮川委員、どうぞお願いいたします。

○宮川委員 私も清原委員と同じく、北村委員を推薦させていただきたいと思っております。北村委員は既にもう4期、統計委員を務められまして、特に2015年以降、委員長代理として、

非常に統計委員会の業務が多忙なところを、前委員長とともに統計委員会を引っ張ってきていただいた実績がございます。

また、統計学、それから計量経済学の分野でも数々の業績を残されておられますし、こうした分野での豊かな見識をお持ちであると思います。こうしたことから、次期統計委員会委員長には北村行伸委員がふさわしいと思います。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 ただ今、北村委員を委員長に推薦する御意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○櫻川総務省統計委員会担当室長 ありがとうございます。御異議がないようですので、北村委員に本委員会の委員長をお願いしたいと存じます。

それでは恐縮でございますが、北村委員には、委員長席にお移りいただきまして、御就任の挨拶をいただければと思います。

(北村委員、委員長席へ移動)

○北村委員長 ただ今御推挙いただきまして、大変重要な職責なので身が引き締まる思いですけれども、皆様から御推薦をいただきましたので、委員長として精いっぱい務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

先ほど御説明がありましたけれども、私、樋口委員長、西村委員長の下で、これまで色々仕事をさせていただきました。その経験も生かして、西村委員長から積み残しの案件もたくさんありますので、それを着実に進めていくことで仕事をさせていただきたいと思います。

御挨拶させていただく前に、まず今般の台風の被害でお亡くなりになった方、被災された方に対して、お悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。

災害によって統計調査が困難な地域も出ていると思われませんが、取りあえず現在は復旧に全力を尽くしていただいて、その後、統計の復旧に努めていただく。それから足元の将来の統計を集めるということで非常に重要ですし、復興のための情報としても重要と思われるので、そういう意味で、統計基盤の回復にも取り組んでいただきたいと思います。統計委員会としても、統計関連で協力できることがあれば、積極的に対応したいと思っております。

新委員長としては、私が理解している課題ですけれども、毎月勤労統計調査の事案から公的統計をめぐる様々な問題が取り上げられました。これは我が国の統計をより良くするための機会と感じて、ポジティブに捉えて取り組んでいきたいと思います。

第6期では、公的統計の整備に関する基本的な計画を前倒しで改定し、多くの課題に取り組み、改善の道筋を付けてきましたが、第7期においては、基本的にそれらの取組を引き継いで、更に推し進めることが重要と思っています。とりわけ国民経済計算を中心とした経済統計の改善、SUT体系への移行などの検討については、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

それから、政策立案とか国民の合理的な意思決定を支える客観的な指標として、統計の品質をいかに高めていくかも重要な視点であると思っております。不適切事案への再発防

止と品質向上に向けた取組が確実に進むようにし、統計への信頼回復を進めてまいりたいと思います。

同時に、現在色々な形で国民のライフスタイルが変わっていますし、データが本当に多様な側面で使われる時代に入っておりますので、公的統計の調査、その提供の仕方など、時代に合わないものになっているのではないか、あるいは社会が求めるニーズに对应しているのかどうかという少し大きな視点から、将来の公的統計のあり方を議論していけたらと思っています。これは希望的な観測ですけれども、そのようなことを考えています。

公的統計をめぐるっては、統計改革推進会議等においても改革に向けた議論が進められるなど、大きな変化の時を迎えております。統計委員会においても、統計委員会の皆様だけではなく、各府省の統計関係者、総務省統計局、統計センター、統計研究研修所等の関係者の各位で知恵を出しながら、我が国の統計が社会の実態を的確に捉えるように、より良いものとなるように全力で取り組みたいと思います。そのためにも、統計委員会の皆様の御協力、御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 ありがとうございます。カメラ撮りはここまでいたします。

(カメラ撮影終了)

○櫻川総務省統計委員会担当室長 それでは、以後の進行は北村委員長にお願いしたいと存じます。

北村委員長、お願いいたします。

○北村委員長 それでは、本日の議事について、事務局から簡単に説明と確認をお願いいたします。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 本日は、この後、委員長代理の指名、部会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員、並びに部会長の指名を行っていただきます。

○北村委員長 それでは、次に委員長代理の指名を行わせていただきます。

参考2を御覧ください。統計法第49条第3項に、「委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する」と規定されております。そこで、委員長代理を指名させていただきたいと思います。私といたしましては、樁委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。事務局は、私が委員長代理を指名した内容について資料を作成し、本日の資料として追加し、ホームページに掲載してください。

本日は新メンバーによる初会合ですので、他の委員の方々からも自己紹介をいただきます。委員長代理である樁委員から、配席図の順番に沿って、自己紹介をお願いいたします。

○樁委員 先ほど委員長代理に指名されました統計数理研究所長の樁と申します。よろしくをお願いいたします。

○白塚委員 慶應義塾大学経済学部の白塚です。よろしくお願いいたします。

○佐藤委員 東京大学社会科学研究所の佐藤香です。よろしくお願いいたします。

○神田委員 N I R A 総合研究開発機構の神田と申します。よろしくお願いいたします。

○岩下委員 大和証券の岩下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○嶋崎委員 早稲田大学の嶋崎と申します。よろしくお願ひいたします。

○清原委員 ルーテル学院大学客員教授の清原慶子です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○宮川委員 学習院大学経済学部の宮川と申します。よろしくお願ひいたします。

○野呂委員 ニッセイ基礎研究所の野呂と申します。経団連の統計部会長もやっております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○川崎委員 日本大学経済学部の川崎と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○中村委員 法政大学理工学部の中村でございます。よろしくお願ひいたします。

○北村委員長 ありがとうございます。

それでは、次に部会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員、並びに部会長の指名をいたします。

まず、部会に属すべき委員の指名ですが、参考1を御覧ください。統計委員会令第2条第2項の規定により、「部会に属すべき委員、臨時委員及び専門委員は、委員長が指名する」とされております。また、統計委員会令第2条第3項の規定により、「部会に部会長を置き、当該部会に属する委員のうちから委員長が指名する」とされております。

これから指名させていただきたいと思いますが、その前に参考3を御覧ください。現在、統計委員会に設置しております部会を確認させていただきます。統計委員会部会設置内規に規定されているとおり、現在、統計委員会には、8つの部会が設置されております。それでは、部会長及び部会に属すべき委員、臨時委員、専門委員を指名させていただきます。

企画部会ですが、所属する委員及び専門委員については、13名の委員全員と6期から企画部会に所属していた清水専門委員を指名いたします。また、部会長は委員長である私が兼務することといたします。

次に、国民経済計算体系的整備部会ですが、所属する委員、臨時委員及び専門委員については、川崎委員、白塚委員、中村委員、野呂委員、宮川委員、菅臨時委員、山澤臨時委員、小巻専門委員、斎藤専門委員、新家専門委員、滝澤専門委員、宮川専門委員を指名いたします。また、部会長には宮川努委員にお願いいたします。

次に、人口・社会統計部会ですが、所属する委員及び臨時委員については、佐藤委員、嶋崎委員、津谷委員、宇南山臨時委員、川口臨時委員を指名します。また、部会長は津谷委員にお願いいたします。

次に、産業統計部会ですが、所属する委員及び臨時委員については、岩下委員、川崎委員、宇南山臨時委員を指名します。また、部会長は川崎委員にお願いいたします。

次に、サービス統計・企業統計部会ですが、所属する委員及び臨時委員については、椿委員、野呂委員、成田臨時委員を指名します。また、部会長は椿委員にお願いいたします。

次に、統計基準部会ですが、所属する委員及び臨時委員については、中村委員、野呂委員、菅臨時委員を指名いたします。また、部会長は中村委員にお願いいたします。

次いで、統計制度部会ですが、所属する委員及び臨時委員については、清原委員、椿委員、縣臨時委員、石井臨時委員、藤原臨時委員を指名します。また、部会長は清原委員にお願いいたします。

次に、点検検証部会ですが、所属する委員、臨時委員及び専門委員については、川崎委員、神田委員、佐藤委員、津谷委員、成田臨時委員、篠専門委員、西専門委員を指名します。また、部会長は津谷委員をお願いいたします。

事務局は、今、私が部会に所属する委員等及び部会長を指名した内容について資料を作成し、本日の資料として追加し、ホームページに掲載してください。

本日用意しました議題は以上です。次回の委員会の日程について、事務局から連絡をお願いいたします。

○櫻川総務省統計委員会担当室長 次回の委員会については調整中です。日時・場所につきましては、別途御連絡いたします。

○北村委員長 以上をもちまして、第142回統計委員会を終了いたします。ありがとうございました。